



元気っ子

No.260 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

ご入園、ご進級おめでとうございます。

平成31年度スタートにあたって、ながさわ保育園の保育理念、保育方針、保育園目標を確認致します。

【保育理念】

「子どもの最善の利益」を常に最優先にした保育の実践

地域、地域の人々、地域の子どものしあわせ（福祉の増進）のためのあらゆる努力

【保育方針】

三間（時間、空間、仲間）の大切さを常に念頭においた保育の実践

「私は私、でも私はみんなの中の私」を体現できる保育の実践

子どもたちが環境（人的、物的、社会的）を通して自ら育ち、自立していくのを見守る保育の実践

【保育園目標】

大人も子どももみんなが集える、心安らく「地域のオアシス」となる

ながさわ保育園の現在の園舎は平成31年度で18年目を迎えます。平成30年度までは市川温予先生が9年間、大切にながさわ保育園を守ってきてくれました。そして今年度からは私が園長として、皆様のお子さんたちをお預かりさせて頂くこととなりました。私は平成27年に東京から長沢に戻ってきたのですが、本当にこの長沢という地域は素晴らしいなと日々感じています。時間がゆったりと流れ、自然の中で四季の移ろいを肌で感じる事ができ、また地域の方々との交流もあります。まさに子どもたちが育っていくうえで最高の場所だと思います。子どもたちはこの園周辺の自然の中で、色々なものを見たり、触れたり、感じたりしながら五感を発達させていきます。この地域では当たり前と思うようなことも、本当はとても貴重な感覚であり、子どもたちがやがて大人になり、社会に出たときに思わぬ形でその貴重な環境で身につけたものが発揮される場面というものが必ず現れると思います。そんな長沢の地で幼少の時期を過ごすということは本当に良いことだと思います。

ながさわ保育園では異年齢保育を17年前からスタートさせ、今年で18年目を迎えます。異年齢保育では5歳児の子どもたちが下の子のお世話を手伝ったり、また3歳児、4歳児の子どもたちが5歳児のお兄さんお姉さんの姿を見て、自分も真似てみたり、頼ってみたりといった様子をよく見かけます。昔は大家族で家庭の中ではそういう子どもたちの姿というのは当たり前であったと思いますし、子どもたちはそうやって「育って」いったのだと思います。そういう環境で育つ子どもたちは周りに対して気配りができたり、人とのコミュニケーションが上手だったり、視野の広い大人に育っていくと思います。古き良き時代ではないですが、そういった人間関係が時代を追うごとに希薄になってきているように感じていますが、異年齢保育の中にはそういった、「子どもが育つ」大切なものが存在しているのだと思います。

平成31年度もまた職員一同、一丸となってしっかりと保育をして参りますので、何卒、ご協力のほどよろしくお願い致します。